

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 ・法人理念「人権尊重・地域共生・誠実なる運営」、基本方針「あなたらしさ100%」をもとに、入居者様の望む暮らし、当たり前が暮らしが実現できるように努めているが、理念や方針についての理解にスタッフ間で差があり、全スタッフが同じ姿勢で取り組んでいる状況までには至っていない	①全スタッフが法人理念、基本方針をしっかりと理解し、同じ姿勢で目標に向けて支援に取り組める環境を作る	①入居者様の都度の課題、支援の方向性について検討する際には、法人理念、基本方針を意識しながら、話し合いを行った上で決定をする ②新任研修時だけでなく、定期的に法人理念、基本方針について振り返ることができる機会を作る(ミーティング等を活用)	12ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング ・計画作成担当者が、計画作成に充てる時間が十分にとれない場合もあり、計画作成や見直しが遅れている状況がある。その為、状態変化がみられた入居者様に対して、現状にあった介護計画書になっていない場合もある ・作成した介護計画書について、内容の理解とその実践が十分に支援に反映できていない場合がある	①介護計画書、モニタリングの作成が滞ることなく、入居者様の現状に合った介護計画書の作成を行う ②スタッフが介護計画書内容を理解し、意識して支援に繋げることができる環境を作る	①介護計画書、モニタリング作成が遅れることがないように、計画作成担当者の作成に充てる時間の確保に努める ②入居者様のアセスメント、介護計画書の作成について、計画作成担当者のみでなく、全スタッフ協力して、積極的に取り組める環境を作る(アセスメント表の記入、計画内容のアイデア出し等) →作成に積極的に関わることで、意識向上に繋げる	12ヶ月
3	38・39	○災害対策 ・各種災害の訓練を実施しているが、地震、風水害訓練の回数が十分にとれていない。定期的に各種訓練が実施できるように予定は立てているが、その日の人員の関係等で延期、中止となることもある。その為、実践力にスタッフで差がある状況がある。また、自然災害以外にも、感染症にも備える体制を作り、意識をより高めしていくことが必要な状況である	①災害・感染症対策の強化	①感染症・自然災害等に備えることができるように、定期的な各種訓練を通じて、スタッフの意識を高めていく ②業務継続計画(BCP)の作成を進め、全スタッフに周知していく	24ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。